あなたの本棚



新しい本の中から

大津市立図書館

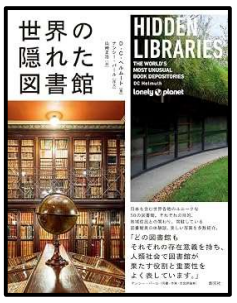
発行№３１９

11月

Pick Up!

『世界の隠れた図書館』 D.C.ヘルムート/創元社/010.2 ヘル

馬の移動図書館、自動販売機型図書館、電話ボックス図書館…。日本を含む世界各地のユニークな 50 の図書館を取り上げ、それぞれの目的、地域住民との関わり、常駐している図書館員の体験談を、美しい写真とともに紹介する。世界の様々な図書館を美しい写真とともに巡ってみませんか。



『司書になるには』
森智彦/ぺりかん社/013.1 モリ

資料・情報を収集・整理・保存し、利用してもらえるよう役立てる図書館。その専門的職員である司書の仕事ぶりを紹介するとともに、生活と収入、司書になるための資格の取得方法なども解説。特徴ある図書館も掲載する。

『ムガル帝国』
青木健/筑摩書房/167.8 アオ

巨大なムガル帝国で花開いたスーフィーたちのイスラーム神秘主義思想とペルシア文化とは。13～17 世紀、インド亜大陸の複雑な思想史を言語に注目して概説する。

『ジャイナ教』
堀田和義/講談社/168 ホッ

不殺生の絶対的尊重を掲げる世界一ピュアでストイックな宗教「ジャイナ教」。仏教と同時期に生まれ、今もインドで大きな存在感を放つユニークな教義と信徒の暮らしを解説する。『春秋』連載をもとに書籍化。

『民衆宗教』
永岡崇/中央公論新社/169.1 ナカ

近代日本では、個性的な教祖による民衆宗教が数多く生まれた。それらは、膨張する大日本帝国といかなる関係があり、社会にどのような影響を与えたのか。19 世紀初めから敗戦前後に至る 150 年の民衆宗教の軌跡を追う。

『捕物帳でよむ江戸時代』
今野真二/淡交社/210.5 コン

時間と行事、人々の職業、ファッション。「半七捕物帳」「銭形平次捕物控」「人形佐七捕物帳」「若さま侍捕物手帖」「右門捕物帖」の五大捕物帳を通して、「江戸時代」がどう描かれているかを図版を交え解き明かす。

『博覧狂気の怪物誌』
後藤護/柏書房/280.4 コト

草森紳一、ハリー・スミス、平岡正明、宇川直宏、ラメルジー、松岡正剛…。歴史学の厳密さではなく、博物学の愉楽をもってエキセントリックな<知の怪物>たちを紹介する。『出版人・広告人』連載を書籍化。

『小栗上野介』
塚越俊志/中央公論新社/289.1 オク

激動の幕末期に外国奉行、勘定奉行、陸軍奉行並、軍艦奉行、海軍奉行並などの要職を歴任し、幕政の中枢を担った小栗上野介忠順。幕府の命運に殉じた 42 年の生涯を振り返り、小栗の活動を広く明らかにし、その業績を見直す。

『これだけで、逮捕』
森雅人/PHP 研究所/336 モリ

人生を壊すのは「悪意」より「無知」。職場、人間関係、営業、日常…。どこに危険が潜んでいるのか。警察の元警部補が実際の事例や判例をもとに、なぜ逮捕されたのか、どこが違法だったのか、どうすれば防げたのかを解説する。

『本当は怖いアフタヌーンティー』
佐藤よし子/幻冬舎/383.8 サト

19 世紀イギリス貴族社会の黒い歴史から生まれた「アフタヌーンティー」。アサシンティーポットと呼ばれる毒を仕込むポットも暗躍する、ドロドロの世界だった…。史実をもとに、知られざる英国上流階級の文化を解説する。

『休息パラドックス』
菅原洋平/三笠書房/498.3 スカ

本当に休まるために必要なのは、休み方の主導権を自分の手に取り戻すこと。なぜ私たちが休めなくなっているのかを、脳や自律神経、身体感覚の仕組から解き明かし、自分の感覚を手がかりに休むための考え方と実践法を紹介する。

『材料 2 つ。なのにちゃんと薬膳』
山田奈美/家の光協会/498.5 ヤマ

滋養強壮に優れる鶏肉と胃粘膜の新陳代謝を助けるキャベツ、血流を促すさばと腎を強力に補う黒ごま…。2 つのメイン食材の性質を使い、砂糖不使用のシンプルな味つけで、食材のもつ力を最大限に引き出すレシピを紹介する。

『世界の建物用語図鑑』
中山繁信/エクスナレッジ/520 ナカ

建築の歴史、パースの描き方、現場用語、デザインの言語、日本・世界の名建築、俗語の由来などを 1300 点超のイラストとともに解説する建物用語図鑑。設計のヒントとなるよう具体的な事例も示す。

『グラスの中のイタリア』
櫻井芙紗子/集英社/588.5 サク

イタリアワインは、「飲む歴史」。ヴェネツィア、トスカーナ、ピエモンテ、半島南部…。唯一無二のワインを生む風土と地域の歴史を、美しい風景や遺跡などの豊富なカラー写真と共に読み解く。

『さっくり、軽やか至福の米粉クッキー』
今井ようこ/家の光協会/596.6 イマ

抹茶の渦巻きクッキー、アーモンドバニラクッキー、レーズンクッキー、カフェモカクッキー…。米粉と植物性の材料だけで作る、グルテンフリーのクッキーを紹介。玉ねぎクッキー、酒粕クッキーといった塩味のクッキーも収録。

『日本の海から魚が消える』
矢野勲/中央公論新社/662.1 ヤノ

温暖化や乱獲により、食卓に並ぶ魚介類が日本近海で激減している。日本の海の危機に対して、どのような解決策があるのか。クジラの保護や世界各国の資源回復の取り組み、著者自身が試みる陸上養殖などから様々な可能性を示す。

『写真でよみがえる昭和百貨店』
佐藤篁之/筑摩書房/673.8 サト

屋上庭園、屋上遊園地、食堂…。昭和の時代、百貨店は“ハレの日”の特別な場所だった! 現役の老舗デパートから、かつて一世を風靡した名店まで。流行の発信地だったあの頃のデパートを、貴重な写真で振り返る。

『自分の眼で見て、考える』
安野光雅/平凡社/723.1 アン

画家・安野光雅の自由な精神はいかに育まれたのか。少年時代から、戦争と復員、代用教員を経て絵描きになり、そして世界を旅し、本を読み、描き続けた日々まで、創作と人生の原点をユーモアに満ちた飾らない言葉で語る。

『近代日本陶芸史』
藤原貞朗/講談社/751.1 フシ

いまや「日本人だけが知らない現代アート」と世界で賞される日本陶芸は、実は昭和元年から現代アートであり続けてきた。近代陶芸を、近代的な新しい芸術意識の下に制作された特別な芸術として捉え、その系譜を紹介する。

『山の法律相談所』
安藤雅樹/山と溪谷社/786.1 アン

登山届は必ず出さないといけないの? テント場以外の場所でテントを張ってはいけない? 長野県松本市で法律事務所を営む著者が、登山をめぐる法律の問題について Q&A 形式で解説する。

『風の道』
白川静/平凡社/821.2 シラ

帝・竜・虹、望・視・夢、路・旅・遊…。古代の人々にとって、風は神のおとずれであった。神と人を繋ぐ深遠な自然を、力強い文章と情感溢れる絵とともに紡ぎ出す、美しく体系的な「漢字」の世界への誘い。

『AI 英語学習法』
柳瀬陽介/岩波書店/830.7 ヤナ 青少年

AI を賢く使えば、自由に楽しく英語が学べる! 英語を学ぶ場面を中心に AI の利用について考えるとともに、長続きする AI 利用法を紹介する。

『小説家のつくりかた』
乙一/筑摩書房/901.3 オツ 青少年

小説ってどうやって書くの? 小説家ってどうやったらなれるの? 小説家・乙一が小説家を志願する人に向け、デビュー後 30 年を支えた実用的創作法と作家生活サバイバル術を明かす。

『アガサ・クリスティのイギリス』
新井潤美/岩波書店/930.2 アラ

今も愛されつづける作家、アガサ・クリスティ。その作品には、古き良きイギリスとともに移りゆく 20 世紀のイギリスが巧みに描き込まれている。ミステリーの女王が捉えたイギリスの今と昔を描き出す。

『未だ本能寺にあり』
今村翔吾/幻冬舎/F イマ

天正 10 年、本能寺の変が勃発。だが、信長の遺骸は見つからずにいる。秀吉から密命を授かった駒井八右衛門は、一度見聞きした物事を忘れない異能を武器に、消えた天下人の行方を追う。『茨城新聞』等連載を加筆・修正。

『金曜日のビストロジュン』
山口恵以子/角川春樹事務所/F ヤマ

広尾の隠れ家レストランのオーナーシェフ・古川淳は、金曜日の夜に、自身が招待したお客だけの贅を尽くした宴を開催していた。最高級の食材を使った料理とお酒、温かいおもてなしに、お客は幸福な時間を過ごすのだが…。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。
また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。

スマホ用ホームページ